

遺伝子組換え技術の国民的理解に関する調査研究

実施予定期間：平成20年度～平成21年度

代表者：鎌田 博

（国立大学法人）筑波大学大学院生命環境科学研究科

中核機関：（国立大学法人）筑波大学

I. 概要

1. 調査研究の趣旨

イネゲノム解析とイネの研究開発に代表されるように、日本は植物バイオテクノロジーにおいて優れた研究を行ってきたが、その開発物が市場に登場することなく、今日に至っている。

遺伝子組換え技術が将来、世界人口の増加や食料不足に貢献する技術であるにもかかわらず、国民の大多数は、遺伝子組換え作物・遺伝子組換え食品（以下、GMOと表記）に対して不安や懸念を抱き、商業栽培はもとより、野外における試験栽培も実質的に不可能になっている。一方、一部のGMO食品（輸入GM作物由来の植物油など）や遺伝子組換え輸入飼料などは広く流通・摂取されているにもかかわらず、国民にはほとんど認知されていない状況にある。また自給率が39%の現状や知的財産権の問題もあり、日本は食料安保において国際的競争力のない国になりつつあり、国内外の状況からも、GMOに対する国民的理解を増進し、研究成果が社会に活用される環境作りが必要になっている。

これまでGMOに関する国民意識調査や研究会、ケーススタディなど、さまざまな形で展開されてきたが、GMOをとりまく多様なステークホルダーに着目し、政策研究としての学際的かつ実証的研究は皆無である。

総合科学技術会議ライフサイエンスPTにおいても、遺伝子組換え技術の国民理解を得ることが急務とされ、省庁横断的な取り組みが望まれているところである。

本調査は、このような背景を踏まえ、GMO等に対する国民理

解を促進し、研究成果の普及を図るために障害となっている問題点を具体的かつ実証的に抽出・把握し、それを解消するための有効な施策の方向性を明らかにすることを目的とする。

GMO理解増進の阻害要因の分析と促進要因を提示するとともに、GMOの理解増進施策に資する具体的な施策（実践的なGMO教育プログラム、一般市民が受け入れやすい理解増進手法、GMOリスクリテラシーなど）を提示することで、GMOに対する国民的理解を促進する。

2. 調査研究の概要

(1) 内外におけるGMO研究と理解増進に関する動向調査と政策提言

GMO理解増進に関わる海外現地調査（欧米およびアジア）の実施と、国際シンポジウム開催を行う。研究推進委員会での検討などにより、GMO理解増進に資する政策提言を行う。

(2) GMOと教育に関する多角的な研究

海外を含む学校におけるGMO教育の実態と課題の調査と、総合的連携による教科横断的な方策の検討。市民対象の理解増進手法の調査。

(3) GMOをめぐるステークホルダーの構造と相互作用に関する研究

GMOをめぐるステークホルダー構造を明らかにするとともに、研究者、自治体、流通業者などにおけるGMOに関する意思決定過程の事例分析を行う。

(4) GMOの社会的受容を規定する心理的要因に関する研究

統計科学的手法による一般国民のGMO受容の心理モデル構築と、GMOリスクリテラシーの研究を行う。

(5) GMOに関する理解増進手法の開発

既存のGMO理解増進手法の評価と、体験型ワークショップなどの実践を通じた新たな理解増進手法の開発を行う。

3. 年次計画

調査研究項目	20年度	21年度
(1) 内外におけるGMO研究と理解増進に関する動向調査と政策提言	↔ 内外の研究・関連政策動向等の分析	↔ GMO理解増進に資する施策の提言
(2) GMOと教育に関する多角的研究	↔ 内外の学校教育におけるGMO教育実態調査	↔ 総合的連携による教科横断的な方策の検討
(3) GMOをめぐるステークホルダーの構造と相互作用に関する研究	↔ ステークホルダー事業者間の相互関係と意識の分析	↔ 研究者コミュニティの構造・意識分析
(4) GMOの社会的受容を規定する心理的要因に関する研究	↔ 心理モデルの作成と検証	↔ リスクリテラシーの測定と態度との関係の検証
(5) GMOに関する理解増進手法の開発	↔ 既存の理解増進手法の分析・評価	↔ 体験型理解増進手法の開発・評価
所要経費（合計）	30百万円	百万円

II. 実施体制

調査研究項目	担当機関	担当者
(1) 内外におけるGMO研究と理解増進に関する動向調査と政策提言	筑波大学（中核機関）	◎ 鎌田博
(2) GMOと教育に関する多角的研究	筑波大学	○ 小野道之
(3) GMOをめぐるステークホルダーの構造と相互作用に関する研究	東京大学	○ 正木春彦
(4) GMOの社会的受容を規定する心理的要因に関する研究	大阪学院大学	○ 田中豊
(5) GMOに関する理解増進手法の開発	くらしとバイオプラザ21	○ 佐々義子

（注：◎は代表者、○はサブテーマ責任者）